

縄文人のふるさと「むつ湾」を 楽しく守る協働の取組

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

イベントの
延べ参加者

2,000人

絵のコンクール
参加者

97人

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

80%



むつ湾感謝祭では青森港でシーカヤック体験

課題

むつ湾の環境を守るため制定されたむつ湾週間だが、認知度はまだ低い。沿岸に暮らす住民は、むつ湾の歴史や産物、楽しみをよく知らない。ふるさとの宝を知ってもらいたい。

目標

むつ湾を守る活動に参加する人が増え、その広がりが沿岸すべての市町村に及ぶこと。縄文の昔から綿々と受け継がれた歴史の上に、自分たちの暮らす今があることを知ること。

活動内容と成果

- 絵のコンクール2018を開催した。むつ湾をテーマにした楽しい絵97点の応募があった。昨年度までは保育園等に依頼して募集したが、3年目となる今年度は、一般からの応募が増えた
- 3年間の活動のまとめとして、むつ湾感謝祭2018を開催した。むつ湾の環境保全に特化して昨年までは活動してきたが、今年度は沿岸の全市町村が参加して、実行委員会形式で行った。屋外会場では特産品販売や子ども向け移動水族館、シーカヤック体験のほか、屋内では「むつ湾感謝祭フォーラム」の開催や、むつ湾の絵コンクール参加全作品を展示した



むつ湾感謝祭移動水族館でウニに触っていた

むつ湾感謝祭フォーラム2018



むつ湾の絵コンクール表彰式

全助成期間の活動を振り返って

1年目は青森市との協働で活動し、2年目はむつ市、外ヶ浜町、横浜町に活動場所を広げることができた。また、縄文時代の小牧野遺跡や大平山元遺跡とむつ湾をつなぐトレッキングは、沿岸住民のアイデンティティをたどる旅のように感じてもらうことができ、好評だった。むつ湾を学ぶためのオリジナル教材の開発は、制作に関わったスタッフの大きな学びと自信になった。むつ湾感謝祭はむつ湾を身近に感じてもらえる効果があった。

| 活動地域 | 青森県

〒030-0861
青森県青森市長島2-1-5 みどりやビル9階
電話：017-721-2480
E-mail: info@eco-aomori.jp
<http://www.eco-aomori.jp>



今後の
展望

むつ湾週間の周知を目的に始まった「むつ湾フォーラム」は、今年4回目の開催が予定されており、沿岸市町村のむつ湾保全への機運が高まってきた。平成30年12月にはむつ湾広域連携協議会が発足し、沿岸市町村の首長、経済、産業関係者がむつ湾の保全について活動を継続するための素地が整った。沿岸市町村での海岸清掃も計画されている。当NPO法人もこの協議会環境部会に参画し、今後もむつ湾の環境保全に貢献していく。